

いつもお世話になっております。KADOKAWAよりご案内致します。
取材に関するお申し込み、お問い合わせは下記担当者までお願い申し上げます。

株式会社KADOKAWA 文芸・ノンフィクション局 第一編集部

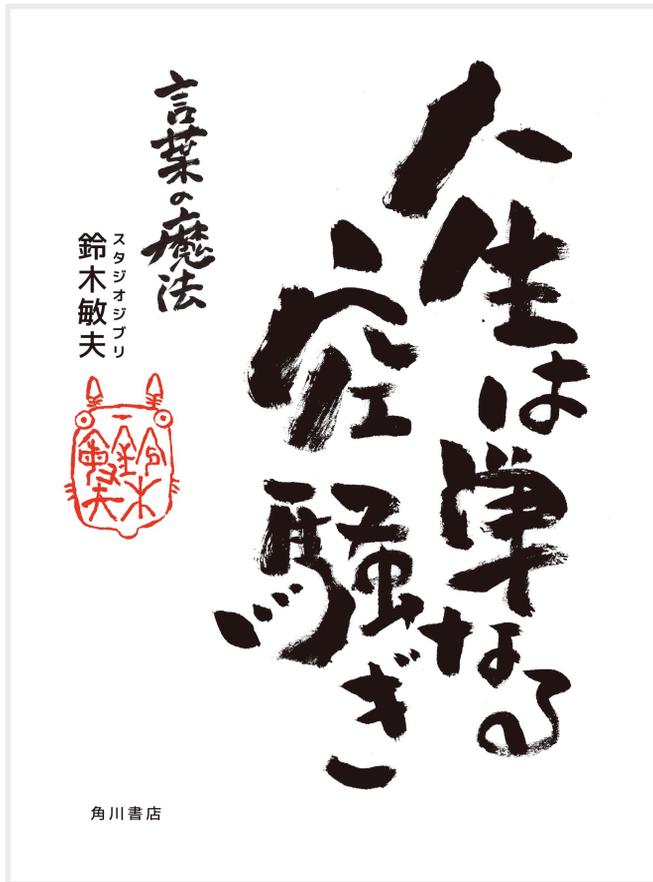
担当:加藤 kato-yo@kadokawa.jp

〒102-8078 東京都千代田区富士見1-8-19 Tel : 03-3238-8555 Fax : 03-3262-7646

手書きの「書」から紐解く、鈴木敏夫の「言葉」

人生は単なる空騒ぎ - 言葉の魔法 -

著：鈴木敏夫

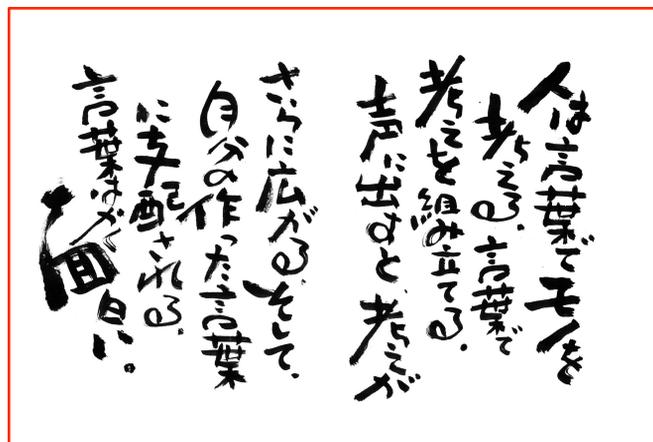


2017年12月28日
全国発売予定
B5変/208ページ
価格:1700円+税
ISBN 978-4-04-106188-6

鈴木敏夫の「書」をまとめた初めての1冊
宮崎駿は絵を描き、ほくは字を書く―。百点以上の「書」と、その「言葉」にまつわるエピソードを収録。

☆CONTENTS

1. 読む 話す 好きな言葉…日頃、気になっている言葉や、好きな詩の数々を「書」で表現。宮崎駿と言葉の真剣勝負を繰り返してきた鈴木が語る好きな「言葉」とは。
2. 映画を作るときに書いてきたこと…ジブリ作品の魅力を伝えるために、鈴木が考えた名キャッチコピーを「書」で紹介。その力強いメッセージが生まれた背景に迫る。
3. 自分のためでなく他人のために…鈴木という言葉や、手書き文字を慕い、多くの企業から「書」の依頼が入る。ここではその一部を紹介。(タイトルロゴ、読売新聞、24時間テレビ、日清製粉グループ「コニヤラ」、LINEスタンプなど)
4. 分からないことはそのまま…幼少期から育まれてきたバランス感覚、そして“編集者”から“プロデューサー”へ。鈴木が思うプロデューサーの仕事とは何か。
5. ジブリにまつわるエトセトラ…手書きで綴ってきた企画書、制作スケジュール表、宣伝アイデア、ポデコピー、ポスターラフ、タイトルロゴ、CMコンテなどを一挙公開。
6. 書は体を現わす…いつから筆で字を書くようになったのか。最新の「書」とともに、「いま、ここに集中」してきたプロデューサー鈴木敏夫の思考術に触れる。



★鈴木敏夫：1948年、愛知県名古屋市生まれ。慶應義塾大学卒業後、1972年徳間書店に入社。雑誌「週刊アサヒ芸能」の記者を経て、1978年「月刊アニメージュ」創刊に参加。その後、宮崎駿と出会い、1984年『風の谷のナウシカ』を制作、1989年スタジオジブリ専従となる。プロデューサーとして『もののけ姫』、『千と千尋の神隠し』など数々の大ヒット作品を生み出している。